

山梨県生活協同組合連合会 主催

山本晴美 歌語り

# 『広島 すずめ』

～あの日からずっとひとりじゃけえ～

1945年8月6日の広島へタイムスリップ  
歌と語りと映像で史実を学ぶスタディーコンサート

2025  
11/8 土

**参加費無料**

開演 14:00 (開場 13:30 終演 16:00)

歌舞伎文化公園ふるさと会館 (多目的ホール)

山梨県西八代郡市川三郷町上野 3 1 5 8



Google Maps

こちらの二次元コードよりお申し込みください▶

人数の把握のため、申し込みをお願いします。申し込み  
がなくても、当日お席に余裕があれば入場可能です。



戦争や原爆の悲惨さを伝える  
パネル展示もあります。

- 託児あり (10/28 までに要予約) / 定員: 若干名 / 対象: 生後 6 ヶ月～未就学児  
※定員を超えた場合は抽選になります。

主催: 山梨県生活協同組合連合会 甲府市落合町 59-2 TEL 055-243-6440

< 会員生協 > 生活協同組合 パルシステム山梨 長野 / 生活協同組合 ユーコープ / 生活クラブ生活協同組合  
山梨大学生活協同組合 / 山梨県労働者共済生活協同組合 (こくみん共済 coop)

# 今を生きるすべての人へ 1945年の日本を伝える歌語り

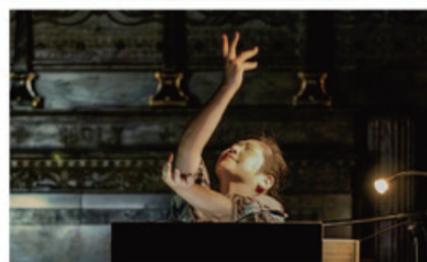
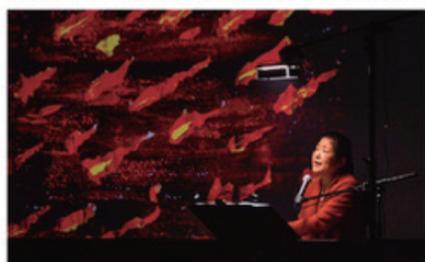
1945年8月6日8時15分 広島に一発の原子爆弾が落とされました  
戦後生まれの私は、原爆ドームの対岸のベンチから遠くを見つめる  
ひとりのおじさんに出会いました

原爆孤児となり戦後の広島を生きてきたおじさんの記憶は、ずっと心の奥にしまわれたままでした  
「あそこに姉ちゃんがいたんじゃないかあさんはまだ行方不明なんよ」

そして、手のひらに集まるすずめたちに話しかけます

「あんときや、悪かったのう」

ある日、おじさんは10歳の少年に戻ったように、少しずつ記憶をひもとき  
あの日の事を話してくれました



原作・構成 山本晴美 / ステージ・制作サポート 松村誠

作品は、2018年NHK広島放送局開局90周年「広島原爆の日ラジオ特集」でドキュメンタリー番組となる。  
2019年9月、ニューヨークを中心に学校、教会、寺院など米国6カ所での歌語り公演を実現。

山本 晴美 Harumi Yamamoto

山本晴美 YouTube



山梨県身延町在住 歌語りシンガーソングライター  
音楽共有 Atelier 主宰  
(公財)やまなし文化学習協会評議委員  
身延町子ども子育て会議委員



1945年の日本の戦争をモチーフに『歌語り』を創作。歌語りはオリジナルの歌と語りと映像で1945年にタイムスリップするドキュメンタリーライブです。思想や政治にとらわれずに史実に基づく歌語りは、スタディーコンサートとして展開しています。山梨県から出征し、特攻作戦で空に散った青年の生きた証をひもとく『万歳峠』は代表作として、毎年、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館で開催。ファーストCD『伝言』は館内のBGMに採用。2025年、活動20周年を迎え、沖縄戦をテーマとした『忘つついんのお』を発表。歌語りは戦争の犠牲となり大人になれなかった子どもたちへのレクイエムです。「これが正義だ」と決めつけたり、作品を通して戦争の苦しみを伝えることだけが目的ではありません。今を生きることの大切さや命の尊さを伝え、人や社会が変わるきっかけのひとつになりたいのです。